



浮間小 だより

令和6年度

12月号

令和6年11月29日

北区立浮間小学校

校長 宮崎 史隆



浮間小HP QRコード

★よく考え 進んで学習する子★

★仲良く すなおで明るい子★

★じょうぶな体で がんばる子★

身の回りの感謝に気付くことができること

校長 宮崎 史隆

浮間小学校にとっては6年振りの学芸会をいよいよ来週開催します。児童全員が初めての経験です。児童数が多いために6組以外のすべての学年はAとBの2チームに分かれて披露します。限られた練習時間で両チームとも創意工夫し集中して練習を重ねてきました。2チームあることで、練習でAチームの演技をBチームが観察して自分たちの演技に生かすなど、子供たちが互いの頑張りに刺激を受け切磋琢磨する様子や互いに讃え合う姿が見られました。嬉しいことです。学芸会当日の子供たちの熱い演技にご期待下さい。

11月15日には毎年の恒例行事である「ふれあい感謝会」を行いました。子供たちが日頃お世話になっている方々に感謝の手紙を書き、交通指導員さん、給食調理員さん、図書ボランティアさん、わくわく浮間ひろばさん、用務主事さん、浮間里山ボランティアさん、事務関係の皆さん、栄養士さん、沼澤さん（20年以上毎朝校門付近を清掃してくださっています）に受け取っていただきました。禅に「花も美しい、月も美しい、そしてそれに気づく心が美しい」という言葉があります。子供たちには身の回りにあるたくさんの感謝できることに気付くことができる人であってほしいと願います。

【演劇鑑賞教室】

劇団「風の子」の皆様をお迎えして11月15日に演劇鑑賞教室を開催（演目は「ちゃんじ」）しました。自分の思っていることを言う勇気がもてない小学5年生の主人公彩香は友達とも上手く話げできません。そんな自分に対して「変わりたいなあ」とつぶやくことから、彩香は不思議な1日を過ごすことになり、ある大切なことに気付かされます。ラストのシーンで「かっこをつけない裸の自分になりたい」「大好きなことがあることはとても大事。それは自分を支えてくれる。」と語ります。彩香の台詞は劇団の方々の浮間小学校の児童へのメッセージでした。午前の部は宮腰先生、午後の部は秋山先生がパレードに通行人として登場し、子供たちから歓声が上がりました。学芸会前に、演劇の楽しさや素晴らしさを私達にとどけてくださった劇団「風の子」の皆様感謝申し上げます。

【ほっこり！】

11月のある日のこと、いつもは昼休み終了の音楽を放送当番が流してくれますが、その日は時間になっても流れません。私は放送で5時間目が始まることを呼びかけました。その直後に放送室前の廊下で「すみませんでした。ボタンを押し間違えました。」と児童から頭を下げられました。放送当番の児童でした。正直な気持ちに嬉しくなり「こちらこそ、ありがとう！」と伝えました。別の日には、廊下に落ちていた絵の具を図工室に届けたところ、受け取った児童がすぐに私を追いかけきて、「ありがとうございました。」とお礼の言葉をもらいました。きっと校内の至るところで心温まるエピソードがあふれているに違いないと確信しました。

12月の生活指導目標 <身の回りを清潔にし、風邪の予防をしましょう>

12月の行事予定				毎週土曜日はPTA廃品回収日です。			
日	曜	朝	学校行事	16	月	朝会	4時間授業 個人面談④
1	日			17	火	浮T	4時間授業 避難訓練 個人面談⑤
2	月	朝会	特6 安全指導日	18	水	浮T	お話会(4～6年、6組)
3	火	浮T	保健指導日 学芸会リハーサル	19	木	浮T	たてわり班遊び クラブ活動
4	水	浮T	4時間授業	20	金	集会	4時間授業 薬物乱用防止教室(6年) 個人面談⑥
5	木	浮T	学芸会(児童鑑賞日①)	21	土		
6	金	浮T	5時間授業 学芸会(児童者鑑賞日②)	22	日		
7	土	公開日	学芸会(保護者鑑賞日) 5時間授業(給食あり) ※6年のみ6時間授業 浮間中新入生説明会	23	月	朝会	特6 (6年のみ4時間授業・個人面談⑦)
8	日			24	火	浮T	4時間授業 給食終
9	月		学芸会振替休業日	25	水	朝会	特4 休み前朝会 大掃除
10	火	朝会	4時間授業 個人面談①	26	木		冬季休業日始
11	水	浮T	4時間授業 ワークショップ(6組)モルック5年	27	金		学校閉庁日
12	木	浮T	4時間授業 お話会(4～6年、6組) 個人面談②	28	土		
13	金	さく	4時間授業 お話会(4～6年、6組) 個人面談③	29	日		
14	土			30	月		
15	日			31	火		

特別支援教育について

特別支援教育コーディネーター

浮間小学校では、子供たちが学習面や生活面、友達関係などで困ったりつまずいたりしている場合、その支援について話し合う「校内支援委員会」を毎月行っています。特別な教育的支援が必要な場合は、その方策を具体的に話し合ったり、通級の必要性などを検討したりします。一人一人の実態に応じてきめ細やかな指導を行う「特別支援学級」、ことばやきこえに関して支援が必要な場合は「ことば・きこえの教室」、生活上または学習上の課題の克服を図る「特別支援教室」など、多様な学びの場があります。

一人一人がもっている力を伸ばし、みんなが楽しく学校生活を送り、心身ともに健やかに自立していけるような支援を推進していきたいと思っています。

ほっとルームについて

養護担当

現在、北区では全ての小中学校に「特別支援教室」が設置されています。浮間小の特別支援教室は、『ほっとルーム』と言い、週に1回1時間程度、児童はほっとルームで巡回指導教員と学習を行います。ほっとルームの学習は、教科の学習とは異なります。例えば、感情をコントロールする方法や、気持ちを言語化して適切に伝える方法、見方やとらえ方を柔軟にする方法などのソーシャルスキルトレーニングを、教員と児童の1対1の活動や小集団活動を通して学習します。児童や保護者の方、担任、巡回指導教員などが相談して指導目標を設定し、達成のために連携しています。

6組那須宿泊学習

6組担当

毎年、北区立小学校特別支援学級(10校)では4～6年生を対象に那須宿泊学習を実施しています。浮間小学校は10月24日～25日の2日間、他の3校と合同で那須の自然を満喫しました。

1日目の「那須どうぶつ王国」では、綺麗な青空を舞台にしたタカやワシのバードショー、様々な動物との触れ合いを行い、子供たちも大興奮でした。2日目の「りんどう湖ファミリー牧場」では、子供たちが希望のアトラクションを決めてグループ活動を行いました。そして、4校合同での入園式、退園式、バスレク、キャンプファイヤーは、浮間小が担当となって進行し、他校との交流を深めることができました。事前学習を丁寧に行い、一人一人が見通しをもちながら協力して過ごすことができた2日間。「那須の宿泊、最高だった!」「友達と仲良くなれた!」こんな言葉を沢山聞くことができ、とても嬉しい気持ちです。この経験を、学校生活で生かしていけるよう今後も指導してまいります。